＜１０月の全校集会　校長講話　10.7＞

今日は、３つの話をします。

１つめは「６年生のようになりたい」です。

先ほど後期委員会の任命式をしました。後期は５年生が各委員会の委員長さんとなりました。みなさんにとっては、委員会のメンバーが替わっただけで、いつものように委員会の人が活動していると思っているでしょう。でも、５年生の人達は、委員長になってみて「６年生のようにうまくできない。」と悩みながら頑張っているようです。６年生のみなさんにとってはとてもうれしいことだと思います。６年生のしていたことが、簡単なことではないということを、５年生が感じてくれて、６年生のみなさんのようになりたいと思っているからです。

５年生のみなさん、心配しなくても大丈夫です。困ったことや分からないことは６年生に教えてもらってください。６年生も去年の今頃や今年の４月当初、あなたたちと同じ気持ちを味わっていたと思うので、きっと優しく教えてくれるはずです。先ほどの任命式での名前を呼ばれたときの返事と抱負とても大きな声で堂々としていました。きっと６年生のようになれます。頑張ってください。

２つめは　「千里の道も一歩から」ということわざについてです。

千里というのは昔の距離の表し方で,３９００キロメートル位だそうです。日本の北海道から沖縄まで約３０００キロなので、それよりも少し長い距離です。そんな長い距離もまずは１歩目踏み出すことが大事です。はじめの一歩は誰にでも始められますが,次の一歩、次の一歩と重ねていくと途中でいやになることもあります。でも、途中であきらめることなく、毎日少しずつ積み重ねることで目標を達成することができるのです。

今日表彰されたテニス・相撲の人達は、普段から練習を重ねて、途中で投げ出すことなく取り組んできたからこそ良い成績を出すことができたのだと思います。他にもバトミントン・柔道・水泳などのスポーツやピアノ・習字などの習い事、自分の好きなことを頑張っている人がいます。みなさんも、自分なりの目標を持って、途中であきらめることなく日々努力を重ね、目標を達成してほしいと思います。

３つめは「なぜ魚釣りが一番心にのこったのか？」クイズです。

９月２９日に遠足がありましたが、４５６年生は、能登少年自然の家に行って魚釣りと追跡ハイキングを体験してきました。ここでクイズです。４年の谷内さんは、遠足の中で魚釣りが一番心にのこったそうです。なぜでしょう？　C:魚つりが楽しかったから C:大きな魚を釣ることができたから？

作文を読むので当たっているかよく聞いてください。

谷内さんは、残念ながら魚を１匹も釣ることができませんでした。でも魚つりでえさの付け方で困っていたら五年生の友達がやさしく教えてくれたことがすごくうれしかったようです。優しく教えてくれた５年生の友達ありがとう。そして自分も友達のように優しく助けて挙げられる素敵な高学年になりたいと心に誓った谷内さん、とても素敵です。

校長先生はみなさんの行事作文を読むのが大好きです。みなさんの心の成長が感じられるからです。

マラソン大会の作文も楽しみにしています。